

原発 ゼロ にむかって

2012年2月15日 No.11

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行/東京民医連事務局 tel: 03-5978-2741 fax: 03-5978-2865 mail: sien@tokyominiren.gr.jp



代代木公園に1万2千人 さようなら原発1000万人アクション

2月11日(日)、代代木公園において「再稼働許すな! 2.11 さようなら原発 1000万人アクション 全国一斉行動 in 東京」が開催され、原発のない世界を願い、約12,000人が参加しました。

「私は叫びたい。あの美しい福島をかえせ、ふるさとをかえせ、あのささやかな日常をかえせ」…福島県平和フォーラム・永山信義さんの怒りの言葉です。福島から母子で避難されている増子理香さんは、厳しい避難生活を振り返りながら「これ以上福島の子どもたちに悲しみを背負わせないでほしい、希望を奪わないでほしい」と涙ながらに訴えました。俳優の山本太郎さんは「エネルギーは余っている、再稼働なんかさせられない。世界中が日本に注目している。もっともっと声を出していきましょう!」と力強く語りました。



呼びかけ人の一人、作家の大江健三郎さんは、集会冒頭の挨拶で「今なら『あの時私たちは原発を止めました』と言える。それは将来子どもたちに見せることができる希望の証」と語りました。集会の最後は、同じく呼びかけ人の落合恵子さんが「私たちはNoを突きつけていきましょう、生命を侵すもの、人生と人権を奪うものに。そしてYesと言える社

会と時代を作っていきましょう。生命と人権が大切にされる社会を」と締めくくり、今後のアクションへ想いをつなげました。

集会後は2コースに分かれてパレードを行い、趣向を凝らしたプラカードやデコレーションで、街ゆく人たちに反原発・脱原発のアピールを行いました。

